

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	茨城県立つくば看護専門学校
設置者名	茨城県

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程	看護学科 (1、2年)	夜・通信	82単位	9単位	—
看護専門課程	看護学科 (3年)	夜・通信	75単位	9単位	—
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

当校ホームページに掲載 http://business2.plala.or.jp/ns-tsuku/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	茨城県立つくば看護専門学校
設置者名	茨城県

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校関係者評価委員会
役割	・学校関係者評価委員会は、学校経営、教育課程及び教育活動、入学・卒業対策、学生生活への支援、管理運営及び財政その他の各項目について自己評価委員会から報告を受け、自己評価結果について委員会としての評価をまとめ、報告書を作成する。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
病院副看護部長	2022年4月1日～ 2024年3月31日	実習先病院看護師
病院副看護部長	2022年4月1日～ 2024年3月31日	卒業生代表
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	茨城県立つくば看護専門学校
設置者名	茨城県

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書(シラバス)の作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の授業終了後に担当講師に次年度の講義について意向を確認のうえ、1月に担当講師に連絡・調整を行う。講師決定後、授業計画書の作成を開始する。 <p>授業計画書の作成・公表時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の1月後半から3月末までの期間において作成する。 ・当年度の4月の始業後に、学校窓口での閲覧を開始する。 ※学生については、4月に1年生に資料を配布し、2・3年生には掲示する。 	
授業計画書の公表方法	<p>当校ホームページに掲載</p> <p>http://business2.plala.or.jp/ns-tsuku/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価の方法や基準を定めた履修規程に基づき、年度末に各学生の学習成果及び出席状況を評価し、単位認定会議を開催のうえ、単位認定を決定している。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

客観的な指標の算出方法として、科目(単位)ごとに成績評価を100点満点に換算したうえで、取得した各科目の点数の平均を求め、これらの指標を基に成績評価を適切に実施している。

評語	評価	可否
A	80点～100点	合格
B	70点～79点	合格
C	60点～69点	合格
D	60点未満	不合格

客観的な指標の算出方法の公表方法

当校ホームページに履修規程を掲載
<http://business2.plala.or.jp/ns-tsuku/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

・教育目標として、次の6つの目標を掲げており、これらを修得した者について卒業を認定する方針としている。

1. 人との関りを通して自己を見つめ、相手を尊重して人間関係を形成する能力を養う。
2. 看護専門職としての責務を自覚し、対象の立場に立って倫理に基づく看護を実践する基礎的能力を養う。
3. 科学的根拠に基づいた看護の実践に必要な臨床判断を行うための基礎的能力を養う。
4. 健康な人から健康に問題をもつすべての人を対象に、健康の状態やその変化に応じて看護を実践する基礎的能力を養う。
5. 看護の質の向上を図るために、探究心をもち主体的に学習し続ける能力を養う。
6. 保健、医療、福祉システムにおける看護職・他職種の役割を理解し、多職種と連携・協働しながら多様な場で生活する人々へ看護を提供する基礎的能力を養う。

・学則において、3年以上在籍し、必要な学科の授業科目を履修して規定の単位を修得した者について、卒業認定会議の議を経て卒業を認定する旨規定している。

・学則及び履修規程に基づき、学生の学習成果及び出席状況を評価し、卒業認定を適切に実施している。

卒業の認定に関する方針の公表方法

資料「学生便覧 2022年度 茨城県立つくば看護専門学校」
 学校窓口で閲覧申し込みをする。
 閲覧時間は、平日9:00～17:00
 ※1年生には資料を配布、2・3年生には掲示する。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	茨城県立つくば看護専門学校
設置者名	茨城県

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	—
収支計算書又は損益計算書	—
財産目録	—
事業報告書	—
監事による監査報告（書）	—

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
		看護				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
3年	昼	(1, 2年) 2,960時間/108単位	2050時間 /82単位	—	910時間 /26単位	—
		(3年) 3,000時間/100単位	1965時間 /77単位	—	1035時間 /23単位	—
		単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120人		120人	0人	10人	188人	198人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業計画書（シラバス）の作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度の授業終了後に担当講師に次年度の講義について意向を確認のうえ、1月に担当講師に連絡・調整を行う。講師決定後、授業計画書の作成を開始する。 <p>授業計画書の作成・公表時期</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度の1月後半から3月末までの期間において作成する。 当年度の4月の始業後に、学校窓口での閲覧を開始する。 <p>公表方法</p> <p>当校ホームページに掲載</p> <p>http://business2.plala.or.jp/ns-tsuku/</p>

成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価の方法や基準を定めた履修規程に基づき、年度末に各学生の学習成果及び出席状況を単位認定会議で評価し、単位認定を決定している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則及び履修規程に基づき、学習成果及び出席状況を卒業認定会議で評価し、卒業を認定している。
学修支援等
(概要) 学年の複数担任制を取り入れ、前期・後期でアンケートの実施及び個別面談を実施している。また、学年の始業時に年間スケジュールを説明し、学生自身が年間目標を設定できるようにしている。 各学年の保護者会を実施し、家族と協力して学修の支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
38人 (100%)	3人 (7.9%)	35人 (92.1%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 看護職として病院に就職			
(就職指導内容) 看護師としての就職を前提に、各自の希望に添った就職先に就職できるように、就職ガイダンスの実施や募集要項の提示、個別面談等を行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師の国家資格取得			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
120人	2人	1.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更(看護職以外の職業を選択した)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生全員へのアンケートや面談と学生個別の授業への参加態度や出欠席を確認し、早期に対応できるようにしている。退学希望時は、現在の状況や今後の進路を客観的に考える時間として休学などを活用している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	5,650 円	166,800 円	298,000 円	教科書代、実習(白衣)費、研修・国試、教材費、図書維持費、参考書代他
修学支援 (任意記載事項)				
経済的理由等により授業料等 (入学試験手数料、入学料及び授業料) の納付が困難であると認められる者に対する免除又は徴収猶予による修学支援の制度がある。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://business2.plala.or.jp/ns-tsuku/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 実習先病院関係者等により構成される評価委員会において、当校が行った学校評価の項目 (学校経営、教育課程及び教育活動等) について関係者評価を実施し、評価結果を翌年度以降の学校運営に反映させる。 委員定数：3名 (実習施設関係者2名、卒業生1名)		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
実習先病院	2022年4月1日～2024年3月31日	実習先病院看護師
実習先病院	2022年4月1日～2024年3月31日	卒業生代表
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://business2.plala.or.jp/ns-tsuku/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://business2.plala.or.jp/ns-tsuku/
--